



混雑緩和はおもてなし

あさかわ うみと
浅川 海音さん(朝日中3年)



僕は、人工知能(AI)を使って、混雑緩和システムの構築を計画する記事を読みました。これは、国内外から1千万人程度の来場が見込まれる2020年東京五輪・パラリンピックを、快適に運営するために計画されたものです。会場周辺の人の流れを予測し、特に混み合う帰宅時に、スマートフォンなどを通して30分後の各地点の状況を観客に案

内し、最適な帰り道へと誘導します。

この記事を見て思ったことは、この計画は外国の方が楽しく、快適に東京五輪・パラリンピックを見られるための、日本のおもてなしの一つになるということです。人工知能という現在の技術を生かした素晴らしい計画だと思います。

過去にも、リオデジャネイロ五輪などで車の渋滞が問題となっていました。これは五輪共通の課題でしたが、今回の対策は対象を歩行者に広げた新たな試みとなります。人工知能をうまく使って、この計画が成功することを願っています。

